

2021年度実務研修会 各講座のテーマと内容

クラスコード	テーマ	内容
11	開講式 ・理事長あいさつ ・委員会からの報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開講にあたり、当会の現状および今後の展望についてお話しいただきます。 ・ 総務委員会、試験・教育制度改正特別委員会および情報通信技術 (ICT) 活用検討特別委員会より、委員会の活動状況等についてご報告いただきます。
21	企業年金・個人年金の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業年金制度、個人年金制度を取り上げ、現状と今後の課題について幅広く解説します。 ・ 直近の政省令等の内容も含め、できる限り最新情報を盛り込みます。 ・ 企業年金の業務に携わる者にとって関心の高いテーマであり、例年人気の講座となっています。
22	IFRSの動向 - 日本基準との差異を交えて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本講座では、IFRS (国際会計基準) の全体的な動向を解説します。 ・ 具体的には、最近公表された、または開発中のIFRSに関して、基準の紹介だけでなく、その開発経緯や目的等も分かりやすく説明しますので、最近のIFRSの開発動向についての基礎的な知識を得ることができる講座となっています。 ・ 必要に応じ日本基準との差異についても言及しますので、IFRSについて特段の知識が無い方でも安心して受講いただけます。ぜひ受講ください。
23	欧州連合および欧州主要国の年金政策と職域年金の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州連合 (EU) の年金政策および欧州主要国の年金制度につき、職域年金を中心に、基本的な制度および財政運営の内容や最近の改正動向を、入門編を含めて解説する講座です。 ・ 今年度は、前段では特にオランダを取り上げ、職域年金制度見直しの議論を中心に、可能な限り最近の動向を含め解説します。後段では、EUの年金政策について、2021高齢化報告、2021年金十分性報告などを中心に解説します。 ・ ただし、制度改正の動向によっては、他の国を取り上げることもあり得ます。
31	労働組合と企業年金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業年金制度は極めて重要な労働条件であり、制度設計や運営における労働組合の役割は大きいものがあります。 ・ 他方、多様化・複雑化する制度に対し、労働組合の力量が問われてきています。 ・ また、今後の公的年金の給付低下を想定し、企業年金のカバレッジの拡大は大きな課題です。企業年金制度に対する弊会の課題認識および労働組合の実情などについて説明します。
32	Afterコロナを見据えた年金運用戦略と顧客サポートのDX化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大はワクチンの普及等で大きな山を越え、経済も各国の積極的な財政等のサポートもあり、深刻な状況に陥ることなく維持されています。しかし、足元ではインフレ懸念の本格的な台頭等、年金運用として取り組むべき課題も出てきています。この講義では、そういった課題に対してのソリューションについてお話をします。また、非対面が常態化する顧客接点の中で、顧客サポートのDX化についても考えてみたいと思います。
33	財政運営実務基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員が業務を遂行するにあたって理解しておかなければならない実務基準の内容を解説する講座です。 ・ 確定給付企業年金に関する数理実務基準・ガイダンスの改定内容や、確定拠出年金に関する数理実務基準・ガイダンスの内容について、実務関係者を主な対象とした解説を行います。
41	当面の運用環境を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本講座は、世界経済の見通しを含む年金運用環境の全般に関する講義となります。 ・ 新型コロナウイルス感染症による影響が徐々に薄らぐ中で、先進国の経済はポストコロナ時代へと転換しつつあり、インフレの発生懸念や、金利も株価の変動が大きくなると想定される中、今後の年金運用に向けた市場環境に対する考え方について解説します。なお、具体的な株価や金利の見通しを当てようとする内容ではありません。 ・ また、企業年金に影響のある市場の話やトピックスについても触れます。
42	退職給付会計のこれまでを振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際基準と日本基準のそれぞれについて、IASB、ASBJ、IAA、JSCPA (IAJ) で、退職給付会計に関する会計基準の開発とアクチュアリー実務基準の開発の両面に深くかかわって来た講師が、退職給付会計の成り立ち、変遷、現状について解説を行うことで、退職給付会計の目的や基本概念について理解を深めていただくことを目的としています。
43	米国の年金制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国の年金制度について解説する講座です。前半で公的年金と私的年金に関する基本的事項を確認します。 ・ 後半では最近のトピックスをいくつかお話しします。内容は、立法、行政、司法、企業の動向等です。具体的には、今のところ以下を予定しています。 <ol style="list-style-type: none"> ① American Rescue Plan Actの概要 (年金部分) ② 政権移行後の行政機関の動向 (信認義務、サイバーセキュリティ、ESG等) ③ 拠出建て制度に関する裁判動向

クラスコード	テーマ	内容
51	公的年金財政	<ul style="list-style-type: none"> 公的年金財政の健全性を確認する2019（令和元）年財政検証が2019年8月に公表され、財政検証およびこれに付随して行ったオプション試算結果を踏まえ、2020年には年金制度改正が行われたところです。 本講座では、公的年金制度の現状や財政検証結果を踏まえつつ、今後の年金財政の課題について解説します。
52	ジョブ型雇用とは何か？	<ul style="list-style-type: none"> ジョブ型雇用について解説します。 <ul style="list-style-type: none"> 2020年から「ジョブ型」が流行しているが、その多くは見当外れ 「成果で評価するのがジョブ型」は9割方ウソである 「ジョブ型は解雇されやすくなる」は8割方ウソである 「ジョブ型はこれからのあるべき姿」というのは大いなる勘違い
61	説明力向上	<ul style="list-style-type: none"> 専門性の伴う内容を一般の方に説明する際、なかなか理解を得られないという苦労をみなさんご経験のことと思います。 本講座では、一般論として専門的な知識を全く持たない相手に、なるべく分かり易く伝えるための基本的なポイントをご紹介します。
62	グローバル市場と内外金利の動向	<ul style="list-style-type: none"> グローバル経済の今後の見通しに関して、新型コロナ動向や海外のインフレ動向による影響も踏まえながら説明します。 内外金融政策の行方やグローバル市場における注目トピックの最新情報についても解説します。 その上で、金利動向への影響や、内外金利の関係性、需給環境による影響についてもご紹介する予定です。特に、政策金利や景気の見通しがイールドカーブのゾーンごとに与える影響について、国内・海外の違いも示しながら解説します。
63	退職給付会計実務基準	<ul style="list-style-type: none"> 会員が業務を遂行するにあたって理解しておかなければならない実務基準の内容を解説する講座です。 「退職給付会計に関する数理実務基準」および「退職給付会計に関する数理実務ガイダンス」と「IAS19に関する数理実務基準」を比較しながら解説を行う予定です。
71	労災保険について	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障制度の一つである労災保険制度についての理解を深める講座です。 労災保険制度の概要、財政状況、現状と課題などの基礎的な内容を解説します。
72	年金数理人のための私的年金税制の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 本講座では、年金税制の基本的な解説はもちろんのこと、それにとどまらず、「租税原則」、「租税体系」、「所得概念」といった税制全体の基本的・理論的背景から説き起こして解説します。 併せて、「特別法人税（退職年金等積立金に対する法人税）」、「他制度掛金相当額」、「日本版個人退職年金勘定（JIRA）」など、私的年金を巡る近年の改正議論が税制に及ぼす影響についても取り上げます。
73	2021年度年金数理自主研究会の中間報告	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度の年金数理自主研究会から中間報告をする講座です。 Aチームからは「動態的な計算基礎率を用いた財政運営に関する考察」 Bチームからは「確定給付企業年金制度における財政検証のあり方」について中間報告をします。 受講中、気が付いた点等ありましたら、積極的なコメントをお願いいたします。
81	ジョブ型人事制度導入事例	<ul style="list-style-type: none"> 2020年8月、KDDIは働いた時間ではなく成果や挑戦および能力を評価し、処遇に反映することを目的とした「KDDI版ジョブ型人事制度」を導入しました。 本講座では、新しい人事制度の狙いと内容はどのようなものかについて解説します。
82	年金数理人が知っておきたい資産運用の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 年金数理人にとっても資産運用の知識は重要です。年金ALM実施時だけでなく、財政悪化リスク相当額の算定（特別算定方法）においても資産クラスのリスクの知見が求められます。 講義では、年金ALM実施時などに必要な資産運用の知識にスポットを当て、政策アセットミックスの構築にあたっての実務上の工夫や、資産インデックスの利用時の留意点を解説します。 また、新財政運営基準における積立・運用戦略の考え方や、最近のトピックスであるESG投資についても解説します。
83	20周年を迎えた確定拠出年金～法改正でどう動くか～	<ul style="list-style-type: none"> 2021年10月、DC法は20周年を迎えました。 国民の老後資産形成の基盤として今後も成長が期待されるDC制度のこれまでの成長を振り返り、2022年から2024年にかけて実施される改正内容を確認のうえ、その影響を考察します。